



シルバーとなみ

第47号

令和4年1月発行

発行/公益社団法人

砺波市シルバー人材センター

砺波南高道217の2

TEL/0763-33-4341

FAX/0763-33-5854

HP/<http://www.2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



ふれあひ

撮影/橋場 剛 (東山見地区)  
撮影地/西蓮寺 (金剛寺)

# 新年のごあいさつ



理事長  
飯田 修平

新年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様には、新型コロナウイルス感染症禍  
の中ではありますが、お健やかに新春をお迎えの  
こととお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃よりシルバード人材セン  
ターの運営に格別のご支援、ご協力を賜っており  
ますこと、心よりお礼申し上げます。

さて、砺波市シルバード人材センターは昨年10  
月に設立40周年を迎え、10月7日に記念式典  
を開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス  
の影響で、今年の6月10日に延期すること  
となりました。

設立40周年を迎えた今、あらためまして、会  
員の皆様はじめ関係各位のこれまでの深いご理解  
とご協力、温かいご指導とご支援に対し、厚く  
お礼申し上げます。



当センターの令和3年度事業実績は、景気回復  
が見られない中で前年度を若干下回る見込みであ  
り、会員の就業機会も減少しております。その主  
な原因としては、やはりコロナ禍での仕事量の減  
少が大きかったと思います。

また、会員数は定年延長などにより全国的に減  
少傾向にあり、更にコロナ禍の影響もあって、当  
センターも減少しております。

こうした厳しい中ではありますが、設立40周  
年を契機として、砺波市シルバード人材センターの  
基本理念「自主・自立・共働・共助」の精神のもと、  
役職員はもとより会員の皆様と共に、「魅力ある  
センターづくり』に取り組みつつ、会員数と就業  
機会の拡大を図って参りたいと考えております。

結びにあたり、今後もシルバード人材センターを  
取り巻く環境はますます厳しくなると思いますが、  
会員をはじめ関係各位のご理解とご協力を重ねて  
お願いするとともに、会員の皆様のご健康でござ  
幸でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と  
させていただきます。



監 事

互助会役員一同  
職員一同



村井 一仁  
安念 政博  
有澤 昌昭  
北市 健四  
橋場 剛  
土倉 信之  
長久 豪郎  
川渕 久士  
田嶋 道夫  
横川 紗代  
桐山 巧  
澤田 賢一  
吉川 美栄子  
高田 光宗  
川辺 知秀

理 事 長 飯田 修平  
副理事長 安念 幸彦  
専務理事 今井 潔  
理 事 杉本 健三

## 謹賀新年

本年もよろしく  
お願い申し上げます。



### ポイントカードの有効期限が迫っています!

新規会員・新規発注者の紹介、総会・各種講習会・清掃奉仕・互助会行事等への参加、地区連絡委員・職群班長等事業運営への協力に対しポイントを付与し、一定のポイント獲得者に粗品を進呈することで、新規会員・新規発注者の拡大並びに会員の各種講習会及び行事等への参加率向上を図ることを目的とした、ポイントカード制度ですが、コロナ禍の影響により、各種講習会や互助会行事等の開催が例年に比べて少ないため、ポイントの獲得が困難であると見込まれ、**令和2年度に限り有効期間が2年間**となっております。(令和4年3月末まで)

令和2年度は、11名(延べ13名)の方が15ポイントを獲得し粗品を進呈しました。令和3年度はポイントが継続されているため、より多くの方が、粗品を獲得するチャンスをもっています。

今年度も残り3か月となりましたが、新規会員紹介で一気に15ポイント獲得はもちろん、『馴染みふれあい店』に出品していただきコツコツとポイントをためるも良し、3月には延期されていた清掃奉仕活動も開催予定で、ポイントの対象事業となっております。ぜひ参加してください。

## 公益社団法人砺波市シルバー人材センター 設立40周年記念式典について

令和3年10月に予定していましたが、「砺波市シルバー人材センター設立40周年記念式典」は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、延期いたしました。その日程が決定いたしました。

**日 時** 令和4年6月10日(金) 午後1時30分 開始  
**場 所** 砺波市文化会館 大ホール

入場は無料で、どなたでも参加できます。入場定員は600名を予定しており、全席指定で行います。記念式典のほか、アトラクションや記念講演、記念品のプレゼントも予定しています。なお、同日午前中に開催します令和4年度定時総会では議決権行使書又は委任状の提出をお願いします。

### 40周年記念誌発行の お知らせ

令和3年10月を持ちまして当センターは設立40周年を迎え、その節目を祝うため、記念誌を発行いたしました。

これまでのあゆみが写真と共に紹介されております。

記念誌には「QRコード」が印刷されており、スマートフォンで読み取ると、様々な情報を閲覧することができます。ぜひご覧ください。

### メディア出演の お知らせ

当センター理事の安念幸彦さんと横川紗代さんがKNBラジオの『でるラジ』に出演されます。

**放送日** 令和4年1月17日(月)  
**14:40~14:55**

センター代表として、砺波市シルバー人材センターのPRをしていただきます。ぜひお聞きください。

ポイントの対象事業	点数
新規会員紹介(登録された場合)	10点
新規受注者の紹介(成立の場合)※1	10点
新規事業の発案(事業化された場合)	10点
班長業務(1年度あたり)	4点
地区連絡委員(1年度あたり)	4点
総会に出席	3点
清掃奉仕活動への参加	3点
就業相談会への参加	3点
各種講習会への参加	2点
各種互助会行事への参加	2点
馴染みふれあい店に出品(1回毎に)	1点
アンケート等への協力	1点
地区連絡委員の配布物送達	1点

※1 受注した仕事の請求額のうち、事務費が1,000円以上となる場合に限る。事務費が1,000円未満の場合は、2点とします。

☆累積15点に達した方は、事務局に申し出し確認のうえ、1,000円の商品券を進呈します。

☆有効期間内であれば複数回進呈します。

☆友達紹介キャンペーン「会員を紹介した場合1,000円の商品券進呈」は継続してポイントカードとは別に実施しています。

### 配分金

#### 支払い日案内

令和4年  
1月17日(月)  
2月15日(火)  
3月15日(火)  
4月15日(金)  
5月20日(金)  
6月15日(水)

# 安全だより

平成29年の事故総数11件以降、会員の皆さんの安全意識の向上により傷害事故、賠償責任事故共に減少傾向にあり、令和2年度には5件まで減少しました。

しかし今年度は過去の事例を超える12件の事故が発生しております。

傷害事故の傾向として、ハチや毛虫による虫刺されが多く発生し、昨年末には雪吊り作業中に三脚脚立から転落し重傷を負う事故が発生しました。

賠償責任事故の傾向として、草刈作業中の刈払機によるガラス破損等の飛石事故が後を絶ちません。安全パトロールを強化し、車両の移動や、養生の徹底を呼びかけていますが、一番大切なのは、安全対策

策の重要さを、会員一人ひとりが再確認をし、安全に作業ができる環境を整備することだと思えます。

これからの時期は路面凍結による転倒事故や、冬の間、自宅で過ごし、暖かくなり仕事が増え、休んでいた体を急激に動かし、無理をして怪我をするケースも考えられます。事故無く、怪我無く、日々笑顔で働けるような現場づくりを心掛けていきましょう。



安全適正就業委員会による安全パトロールの様子

対前年度事故件数比較表 (12月末現在)			
区分	2年度	3年度	増減数
傷害事故	2	7	+5
賠償事故	3	5	+2
合計	5	12	+7

## あとがき

シルバー会員の皆さま、日々のお仕事お疲れ様です。

2021年は、コロナ禍で明け、県外への移動や多数の会食の自粛などをして我慢をし、そして耐えてきました。

コロナが蔓延してから「不要不急の外出の自粛」、「巣ごもり」といった言葉で象徴されるように日常生活、仕事や学校生活に暗い影を落とし、重苦しい雰囲気押しつぶされそうな状況が続いていましたが、9月にはコロナの勢いが弱まり、10月に入ってようやく緊急事態宣言が解除され、明るい兆しが見えてきました。しかし、コロナが収まったわけではありませんので、まだまだ油断はできません。

さて、緊急事態宣言が解除された後、皆さまはどのように過ごされてますか。旅行や食事も、家庭菜園、日曜大工、映画や音楽鑑賞、友達同士の語り、ウオーキング、家庭サービス、講座の受講などのほかにもやれることがたくさんあります。

この中で、私は講座を受講して視野を広げることをお勧めします。

県民力シッジの各種講座、散居村ミュージアムの「散居村学習講座」、砺波市民大学「学遊塾」など多くの講座が用意されています。最近では町並散策、認知症の予防や人生百年時代に関する講座が設けられ好評です。

自分の関心のある科目を選んで受講して人の話を聞くことによって気分転換になりますし、もの見方も変わってきます。

最近では3密や巣ごもりなどを意識して、オンラインの講座が設けられており、講座数も増えていきます。オンライン講座ですと他人を気にすることなく、気軽に自宅を受講できますのでとても好評です。

このほか講座ばかりでなく、読書会、歌声サークル、歴史の勉強会、ボランティアサークルなどのグループが各地区の公民館で盛んに活動しています。

「少年老いややく学成り難し」という言葉があります。若者もあつという間に年をとり学問はなかなか身につかない。だから、ほんのちよつとした時間でもおろそかにしてはならないという意味です。

巣ごもりの生活から抜け出して、学びあう仲間の輪を広げてみませんか。もちろんマスクの着用、手指の消毒は必ず行うのが鉄則です。

2022年は、必ずコロナに勝つという意気込みで頑張りましょう。それでは、皆さんにとっていい年となることをお祈りしています。

(広報委員 桐山巧)